

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ジャパンユニックス 熊本テクノセンター

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		「企業理念」、「経営方針(志、役割、行動指針)」、「経営目標」を制定しており、従業員は、自らの使命と責任を理解し、挑戦していく文化がある。												8	9																	17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		「品質方針」に「法令や規制などの社会的規範を守り」の文言を入れており、各拠点ごとに掲示し伝達している。また定期的な勉強会を実施している。																													16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「社訓」の中に節義、約諾を掲げ周知している。従業員は社内でも法令違反行為、倫理上問題のある行為、規定違反等コンプライアンス上問題のある行為を発見した際の是正、解決を図るための内部通報規定がある。																														16	10
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		各部署および自らの事業活動が、社会、環境に及ぼす影響を把握し従事している。加えて専門性を持った部署も設置し、監視と管理をしている。																														16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許申請制度を規定している。その制度を活用し、知的財産の保護に取り組んでいる。													8.2 8.3	9																	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		担当部門が適切に管理しており、且つ情報機器の管理、情報セキュリティ教育など個人情報漏洩防止にも取り組んでいる。																													16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客、代理店、サプライヤーなど、定期的にコミュニケーションを取り、情報収集をしている。その情報を元に販売戦略、生産計画を立て事業活動をしている。																													16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		サプライヤーと環境保全(生物多様性)の取組みを共に取り組んでいる。グリーン調達のための打合せを4回実施しており、1年以内の事業継続計画の策定完了を予定している。【予定】2023年11月末					5									8		10			12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		防災経路、備蓄品を備蓄している。事業継続計画策定のための打合せを4回実施しており、1年以内の事業継続計画の策定完了を予定している。【予定】2023年11月末															9				11		13.1								16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		各業務の事業承継に積極的に取り組んでいる。														8	9															17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2							8					12	13	14	15	16	17						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		パワハラ防止法に伴い、各種ハラスメント防止の勉強会を実施している。新疆ウイグル自治区における人権侵害行為が行われていることを確認した場合には、直ちに調達を停止するなどの処置を取っている。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3														16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を発足し、職場環境の整備に取り組んでいる。安全衛生委員会の担当は講習会を受講している。					3								8.8																		
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		就業規則を定め、公正な待遇をしている。														8.5		10.2 10.3															
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		有給休暇取得の推進と長時間労働や連続勤務とならないように業務量を分担・調整している								3						8.5 8.8		10.3															
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部セミナー受講、資格取得の推進、Web教育システム導入など、積極的に提供している。									4	5.5				8	9																
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		産業医を設置して心と体のケアを実施している。年1回定期健康診断を実施している。															8														17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		育児休暇制度を取り入れている。(育児休暇後の職場復帰率は100%)外国人を15名雇用している。									4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3												16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		新型コロナウイルス防疫基本ルールを制定している。オンラインツール、時差出勤、在宅勤務、テレワークを推奨・導入している。															8	9.1			11	12											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		オンラインの納品作業を開始している。																8	9.1			11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																		8	9														

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ジャパンユニックス 熊本テクノセンター

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		グリーン調達ガイドラインを制定して運用している。 環境負荷物質低減の取組みを推進し、廃棄物については、産業廃棄物処理法に則った廃棄業者の産業廃棄物マニフェストに従って処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		九州電力より「電気ご利用明細」を基に、昨年度から拠点の電力使用量を把握しており、本登録に際し重点的な取組みとして掲げ、節電に取り組む。またエネルギー使用量削減の取組みとして、極低電力製品や消費電力の見える化の製品開発に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		九州電力より「電気ご利用明細」を基に、CO2排出量を把握しており、本登録に際し重点的な取組みとして掲げ、温室効果ガス排出量削減の取組みとして、節電をはじめ、クールビズ、ペーパーレス化、バス通勤の推奨、グリーン購入に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		グリーン調達ガイドラインを制定し、サプライヤへ展開している。 環境負荷物質低減の取組みをサプライヤに展開している。 自社製造工程においても監視している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		令和4年度より3Rを考慮した消費電力やそれに伴うエネルギー消費量が見えるコントローラの製品開発を進めている。(開発完了は令和5年4月予定だが、開発進捗によるため完了を断定できない。)その他、ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内給湯室に「節水」のステッカーを貼るなどして節水に努めている。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.a					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン調達(EU RoHS)の取組みにて、有害物質を含有している部品などの無駄な購入をしないように部品選定している。 3Rを考慮した製品の開発に取り組んでいる。(項目26)										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		コロナ禍によりお客様のご家族がやられている 牡蠣業者の余った牡蠣を社員に購入してもらった取組みを実施している。	1	2				6.4								12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			PETの分別回収をしている。 プラカップを紙コップに変更している。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			自社の社用車の半分は電気自動車を導入している。 社員へはバス通勤の利用を促している。									9.4		11.2			13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社ジャパンユニックス 熊本テクノセンター

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001:2015の認証を取得している。ISO9001:2015の要求事項に伴い、製品開発のフローを明文化し、監視している。製品リリース前の製品の安全性試験を実施する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4													
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		作業動線上の段差を全てなくしている。									9.1	10	11.7												17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15								17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15										
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	社会課題であるエネルギー使用量削減を解決するため、令和4年度より3Rを考慮した消費電力やそれに伴うエネルギー消費量が見えるコントローラの製品開発を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15								17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本地震の際、熊本県と益城町へ寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防災経路および消火器の使用期限監視、備蓄品の用意、防災マニュアルを準備している。				4							11.5		13.1			16									
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	会社内にAEDを設置している。 AED操作教育を実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17								
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1												
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	令和3年度に1回SDGsの勉強会を実施している。 本登録に際し、再度SDGs勉強会の実施を予定している。 【予定】2022年12月末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	職場体験、インターンシップの受け入れをしている。				4				8.6		10.2												17			
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	30歳以下の社員を積極的に雇用している。 (2022年度実績 2名)				4.4				8.5 8.6														17			
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2	4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15							17				

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。